

6月定例議会報告

6月議会、知事の説明から始まりました。28年度の当初予算を骨格予算として編成したことから今回は肉付け予算についての対応の予定でしたが、一刻も早い復旧・復興を図るため肉付けについては9月補正予算以降で対応することになりました。国は総額7780億円の補正予算を措置しました。この中には7000億の復興予備費が含まれています。このうち1023億円の使用が閣議決定されました。安倍総理が言った「復興において必要となる財源によって、地方自治体が立ち行かなくなるということは絶対にないようにしていきたい。」を信じ、立法化を含めた特別な財源措置を求めていくということです。

補正予算は復旧・復興を図るために1394億円。肉付け予算で464億円そして議会中の追加として698億円(中小企業復旧支援グループ補助金698億円と割引付旅行プランの経費66億円)を可決しました。補正後の一般会計予算額は1兆34億円。1兆を超えるのは県政史上初めてです。内訳は応急仮設住宅及びみなし仮設住宅費、みなし仮設住宅として提供する民間賃貸住宅の補修費支援に農林水産業の被害に対するもの。そして中小企業補助制度30億円などです。

代表質問は全て震災関連でした。財源確保や人員確保、生活支援、防災拠点、商工業支援、農林水産支援、土木、解体支援、医療福祉施設の復旧、学校、文化財の修復などです。

学校については原形復旧を超えるものを国へ要望していると宮尾教育長は答弁しました。

新幹線の防音壁落下への対応は年内に完了させるように要望していると島崎企画進行部長が答弁しました。

立野ダムについての質問については国の調査を注視していますという知事答弁に終わりました。



立野ダム建設中止の要請に行きました。

活動報告
PHOTO

委員会報告

■教育警察委員会

済済髯高校ほか21校の災害復旧に12億円、美術館の復旧に2億1500万円、肉付けとして産業教育の実験実習に必要な整備2700万円、県立体育館の計画的な改修2500万円の補正予算について説明されました。

条例は県立高等学校再編整備等基本計画の実施に伴う多良木高校、球磨商業高校、南陵高校の3校を、球磨中央高校、及び南陵高校の2校に再編する規定の整備に関してでした。地元の意見をきちんと聞いているのか、多良木の多の字もなく、再編の当初からくすぶっているこの計画はどうなのかと聞きましたが、「何度も地元と話をし、名前に関しても募集し、決まった。」と、淡々と答えられました。

警察関係では地震対応分で3100万円、肉付けとして4億2200万円(阿蘇警察署整備等)の増額について説明がありました。

委員会では付託された全ての案件が承認されました。

請願・意見書採択

- 平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書
- 行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書
- 被災者生活再建支援法の改正を求める意見書
- 熊本地震における家庭動物同行避難者の公営住宅および応急仮設住宅への入居を求める請願
- 「多重債務者生活再生支援事業」の継続を求める請願

全て**全員賛成**で採択されました。



熊教組城北支部でごあいさつ。



健軍で東区の皆さんと街頭行動。